

明るく元気の出る町

平成5年8月1日発行・毎月1日 編集・発行 / 秋田県東由利町役場企画課

広報

ひがしゆり

HIGASHIYURI

東由利町

1993

8

NO.461



第38回東由利町畜産共進会
H.5.7.7(西山・畜産広場)



リポート'93 由利牛の里

バブル崩壊、関税率引き下げ、価格低迷…

それでも東由利は

畜産の町



「あきたこまちと由利牛の里」をスローガンにしている本町にとって、畜産は町の基盤。県内初の由利家畜市場上場千頭達成などの明るい話題の反面、子牛価格の低迷など厳しい現状となっています。畜産共進会に合わせて、本町の畜産をリポートします。

生産基盤は万全

昭和六十三年に完成した出羽丘陵開発事業では、二百十畝の草地造成をはじめ、農道約二十六km、畜舎十八棟、農機具庫五棟、サイロ百五十基などが整備され「一大生産基地」が誕生しました。

また大型トラクターの導入により、大幅なコストの削減や粗飼料の安定確保、生産性の向上が図られました。今では牧草を刈ってから梱包するまですべて機械で行われ、大幅な労働力の削減になっています。

出羽丘陵開発事業で草地が整備されたことにより、「畜産の町東由利」の生産基盤が確立されたといえます。



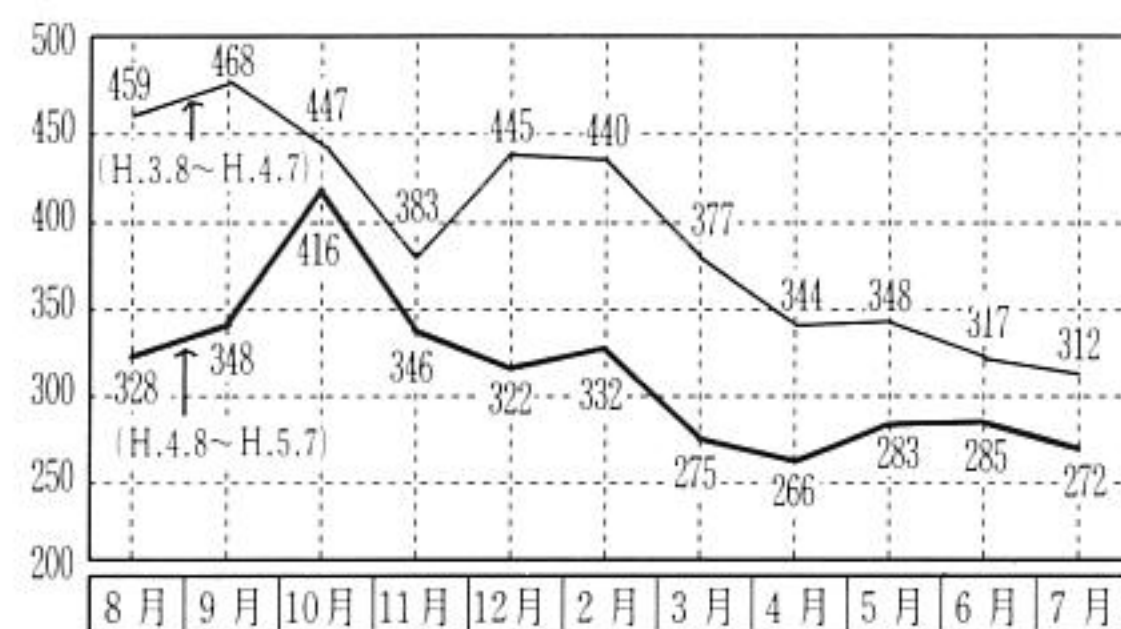
▲草地の改良により機械の大型化が進む



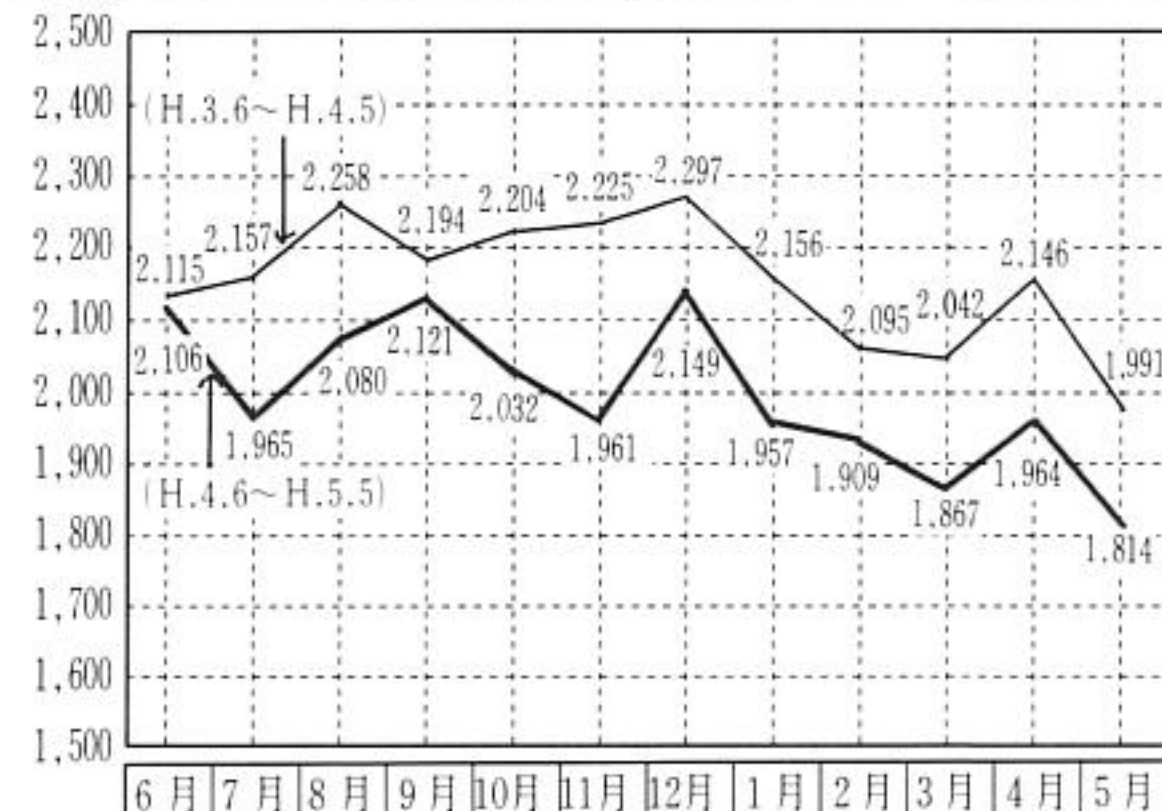
「県内の子牛価格の動きは由利市場を見ればわかる」と言われ、県内子牛価格の目安になっていたものの、現在由利家畜市場は県内で最下位の状態。町では子牛の価格対策として、市場に出荷する牛をおおむね二百七十キログラム三百キログラムに統一しようと七カ月齢の牛を対象に指導しています。また適量の飼料を与えるための「計量カップ」購入の補助や牛の運動不足解消のためのパドック新設への補助制度などを実施しています。

7月市場の平均価格は27万2千円

(単位：千円) 1年間の子牛価格の動向



(単位：円) 1年間の枝肉価格(去勢和牛A-4)の動向



和牛子牛価格低迷の原因と対策

バブル経済の崩壊による不景気、牛肉の関税率の引き下げ、枝肉価格の低下など原因はいろいろあげられる。また本荘由利地区は繁殖農家が多いこともあり、家畜市場の購買者はほとんどが地区外の人。このため地元との価格競争ができず、買い手市場になりやすいのも原因の一つ。これらを踏まえて、県では無利子で資金を借りれる肥育素牛自家保留資金などを利用した肥育農家の育成や企業経営感覚の必要性などをPRしている。

地元の買いも必要

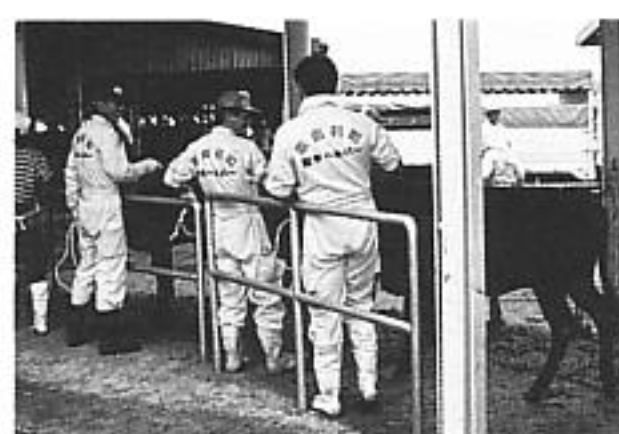
秋田県由利農林事務所
農務課 振興担当

必ず高い時期が来る

町畜産振興指導員
鈴木龍太郎さん

不景気による牛肉消費の低迷が一番の要因。現在肥育農家では高値の時に購入した牛を売る時期に来ており、牛肉消費の低迷に牛をさばくことができず、購入も困難な状態にあり、価格が上昇しないものと思われる。この時期にこそ繁殖農家は資質がよく、体重のある牛を育てることが大切。牛舎を清潔にし下痢などの病気になるないように心掛け、経営の目安である一頭当たり千円を確保するようにしたい。この低迷期を乗り切れば必ずよい時期がくるので、それを信じて町、JA、農家が協力して行かなければならない。

県内初の和牛ヘルパー



和牛ヘルパー制度は、お年寄り世帯や出稼ぎ世帯の農家等を対象とし、牛の市場上場や検査などの時に、飼育農家の畜舎から購買者または検査を終えて畜舎に入るまでの作業を和牛ヘルパーが行うものです。具体的にはJAに市場上場

力強い助っ人登場

和牛ヘルパー
制度発進

や検査の申し込みをする時に「ヘルパー希望」と申し出れば当日までにヘルパーを決定し、派遣する仕組みになっています。家畜市場へ出荷の際には一頭当たり九千円、検査などの際には一頭当たり五千円の負担となります。ただしこの中には運賃は含まれません。和牛を対象にしたヘルパー制度は、県内では本町が初めてで、和牛飼育の「力強い助っ人」に大きな期待が寄せられています。

七月九日には五人のヘルパーが家畜市場に出荷するため、四戸の農家の牛を引き出しています。

利用者の声……



ヘルパーは

大助かり

松柴・古関 三郎さん

若い頃は牛を引っ張って連れて行ったものだが、今は引っ張るのが大変。力のあるヘルパーの人が全部やってくれるので助かります。



出稼ぎの

時も安心

松柴・鎌ヶ崎正二さん

ヘルパーの人は牛のことを理解している人ばかりなので、安心して頼むことができます。出稼ぎに行っている時は気掛かりだったが、安心して仕事をしています。

フランスの取れた牛が多数出陳

館合和牛組合が総合5連覇

第三十八回町畜産共進会が七月七日、畜産広場で開催されました。今年出陳された牛は黒毛和種六十二頭、ホルスタイン種八頭の計七十頭。

開会式で町畜産共進会運営委員会長

の阿部幸悦町長が「平成三年には由利家畜市場への子牛の上場頭数が千頭を突破した。この県内初の快挙は「あきたこまちと由利牛の里」を掲げている東由利町にとって喜ばしいことである。

現在では子牛価格が低迷を続けており、畜産農家は厳しい状況にあると思うが、いろいろ議論しながら対策を考えていきたいので、頑張つてほしい」とあいさつ。

引き続き黒毛和種で七部門、ホルスタイン種で二部門の計九部門で審査が行われ、それぞれ優等賞（別掲載）、一等賞、二等賞、三等賞を選定したほか、肉用牛の団体賞では館合和牛組合が五連覇を果たしました。

また和牛繁殖農家の目標である「子牛は一年一産」を達成した方を称えようと、今年度新たに創設された「平均分娩間隔一年一産表彰制度」では平成四年度に一年一産の子牛を生産した畜産農家七十一名を表彰しました。

審査講評で県中央家畜保健

これが今年の優等牛だ！（出陳者） 敬称略

衛生所の杉本宣夫主席専門員は「全般に発育がよく、フランスのとれた牛が多く出陳されていた。お互いに改良点を確認し、勉強する良い機会なので、地域ぐるみで『優秀な牛づくり』に励

んでほしい」と講評しました。昼食時に実施して好評を得ている「牛肉の食べ放題」では、牛肉四十八キログラムと搾りたての牛乳四十キログラムが準備され、またたく間になくなり、農家は「とてもおいしい。来年もぜひ行ってほしい」と話していました。

《黒毛和種・育成区》

ゆうほう（宿・小野邦一）

《同・若牛区》

さちみ（館合新田・小野一郎）

《同・成牛一区》

こうしん3（葎沢・佐藤好男）

《同・成牛二区》

めぐみ（須郷・高橋新一）

《同・成牛三区》

はなひめ（館合新田・高橋重四郎）

《同・高等登録牛区》

うめよし、はるひめ、第2よしひめ（館合新田・畠山正博）

《同・繁殖雌牛群区（個人出陳）》

ふくなみ、たまひめ、いさこ（蔵新田・阿部勲）

《ホルスタイン・未經産の部》

スリーファーム ウィンターアイバンホー（下吹・小野武志）

《ホルスタイン・経産の部》

フィーンランド カウントプリンセス（舟木・大庭喜一郎）

《団体賞》

肉用牛▼①館合和牛組合②久山和牛改良研究会③黒沢地区和牛改良研究会
乳用牛▼①宿地区②蔵地区



▲表彰式



第38回東由利町畜産共進会

平成4年度平均分娩間隔1年1産表彰者

(敬称略)

市場出荷5頭以上			
自治会名	氏名	頭数	平均分娩間隔
大吹川	佐藤 公一	5	354.1
葎 沢	佐藤 隆一	8	351.8
館 西	遠藤 正輝	19	353.4
〃	遠藤 君男	5	350.2
山 崎	工藤 貞雄	6	350.4
久 保	下田三太郎	9	344.1
下 通	小松金太郎	7	351.2
新 処	遠藤 熊雄	9	364.3
大 琴	鈴木 博	5	358.2
宿	遠藤 次雄	5	363.2
〃	小野 耕助	9	353.8
〃	小野正之助	5	353.7
土場沢	小笠原正作	7	353.1
大 台	石綿徳市郎	8	345.1
袖 山	鈴木 正昭	9	353.1
市場出荷4頭以下			
向 田	小松正之助	1	351
葎 沢	佐藤 宗市	4	351.6
黒 淵	八嶋 徳蔵	2	348
地下ノ沢	畠山 与一	2	335.5
田 代	佐々木信夫	2	345
〃	渡辺 信徳	1	359
〃	渡辺哲治郎	3	356.3
〃	渡辺 房吉	1	351
館合新田	高橋 勝美	2	354.5
〃	小野 武志	2	351.5
〃	長谷山雄悦	1	364
山 崎	菊地 義一	3	350.6
久 保	大場 明	2	352
大吹川	太田 良治	3	344.6
湯出野	長谷山伝治郎	1	363
下 通	小野 弘	3	353.3
〃	小野 政次	2	348
上 里	小野市四郎	3	363.5
島	千葉 昭三	2	360.5
蔵新田	阿部 勲	2	354.5
〃	遠藤 誠喜	3	359.5
〃	小笠原豊記	3	339.6
〃	石渡 力造	1	327
〃	伊東 勝見	2	350.5
横 渡	小笠原慶照	2	364.5
〃	小野 茂二	3	348
岩 館	伊東 長一	3	362.3
〃	石渡 一雄	2	353
〃	木島 藤松	2	364.5
黒 沢	小松 富記	3	352.5
〃	木島忠治郎	3	347
新 処	遠藤多喜夫	1	361
〃	遠藤民一郎	1	358
十二の前	佐藤 勇雄	2	365
小 倉	阿部 六平	2	363
〃	伊東 高雄	3	343.5
〃	遠藤 司郎	1	353
〃	遠藤 正明	1	349
下 吹	遠藤 寅雄	1	346
〃	畑山 忠夫	2	361.5
大 琴	佐々木一郎	3	342
〃	佐々木孝一	2	360
〃	佐々木寿一	3	360.6
〃	佐々木貞雄	1	328
〃	佐々木正男	2	361
〃	梅津 栄一	1	351
土場沢	小笠原 順	1	356
〃	小笠原定夫	2	359
高 屋	小野ミドリ	3	364.5
〃	小野 吉雄	2	336
杉 森	阿部 初三	4	358.6
沼	鈴木 孝弥	1	350
〃	鈴木 長喜	3	351.3
大 台	木島 勝男	3	340.5
袖 山	畠山 秀夫	2	361.5
〃	鈴木 隆	4	345.7

郡畜産共進会 総合3位に入賞

第二十九回由利畜産共進会は七月二十一日、本荘市石脇の由利家畜市場で開かれ、本町は総合三位に入賞しました。

この共進会には、町畜産共進会上位入賞牛二十四頭が出陳。審査の結果肉用牛部門で大内町に次いで三百四十点で二位、乳用牛では百点で三位、総合では大内町、矢島町に次いで三位に入賞しました。なお、一等賞七頭、二等賞十四頭が入賞しています。

畜産は今が勝負の時期

町長 阿部 幸悦

町長 阿部 幸悦 記

「あきたこまちと由利牛の里」を標榜している本町にとって子牛価格の低迷は大変心配なことであります。牛肉の自由化、関税率五十％、バブルの崩壊、カウサイクル等の複合原因であると解説されています。そしてその見通しは、なかなか難しいとも……。

しかし、本町の畜産には長い歴史と血のにじむような先輩たちの努力があります。戦前からの役牛の時代、オー

ストラリアからのジャージー種の導入、それに伴う牧草地の開墾、そして出羽丘陵開発による大規模草地造成などが行われ、その結果県内では初の子牛市場上場千頭達成でありました。

昨年それを記念しての千頭まつりを盛大に行い、その時にも申し上げました。「これを新しい出発点にしよう」と。そして「いろいろな試練を乗り越えて今日を迎えた。これから大変なことがあるだろうが、頑張り合おう」と。今がその時期であります。

町ではJA東由利と連携しながら、将来を見通しての優良雌牛保留対策事

業や県内初の和牛ヘルパー制度の導入、優良精液の確保などを施策しながらこの試練を乗り越えるべく努力しています。

七月七日の畜産共進会には、例年になく粒ぞろいの牛が出されたと審査員の先生に講評され、「この時期が勝負」という農家の方々の心意気を感じたのは私だけではなかったようです。

「あきたこまちと由利牛の里」を確固たるものにするためにお互いに頑張り合ひましょう。

衆院選 前回を上回る投票率

第40回衆議院議員総選挙(秋田県第2区)開票結果(本町得票順)

	候補者	年齢	所属	本町得票数	2区得票数
当	村岡 兼造	61	自民・前	2,066	78,354
次	川俣健二郎	67	社会・前	625	58,773
当	笹山 登生	52	新生・元	612	70,733
	栗林 次美	45	社会・新	136	23,904
当	御法川英文	57	自民・前	60	64,105
	佐藤 栄吉	51	共産・新	60	7,609

投票風景(写真・第4投票所)



投票区	当日の有権者数	投票者数	棄権者数	投票率
第1区(黒沢地区)	337	276	61	81.90%
第2区(田代地区)	326	263	63	80.67
第3区(袖山地区)	162	134	28	82.72
第4区(館合地区)	910	717	193	78.79
第5区(松柴地区)	67	63	4	94.03
第6区(老方地区)	865	709	156	81.97
第7区(祝沢地区)	48	40	8	83.33
第8区(高村地区)	23	21	2	91.30
第9区(法内地区)	324	269	55	83.02
第10区(蔵地区)	598	494	104	82.61
第11区(黒沢・大台地区)	76	64	12	84.21
第12区(宿地区)	572	498	74	87.06
第13区(杉森・沼地区)	78	61	17	78.21
計	4,386	3,609	777	82.28

当日有権者数 4,386人 投票者総数 3,609人
有効 3,559票 無効50票 持ちかえり 0票

衆院選

「自民政権の継続か、非自民連立政権の誕生か」が最大の争点となった第四十回衆議院議員総選挙及び

最高裁判所裁判官国民審査は、七月十八日に投票が行われ、即日開票されました。

この結果秋田県第二区では、前職で

老方前堤に照明施設整備

宝くじ助成で弁天島ほたるの会

老方「前堤」に、このほど照明施設が整備されました。

これは、老方地域の青年が中心となり結成した「弁天島ほたるの会(高橋賢太郎会長)」が、宝くじの普及広報を目的とする(財)自治総合センターのコミュニティ助成事業により整備したもので、電線は地中埋め込みにして水銀灯三基、配電盤五個等を設置し、総事業費は二百七十七万円余となっています。

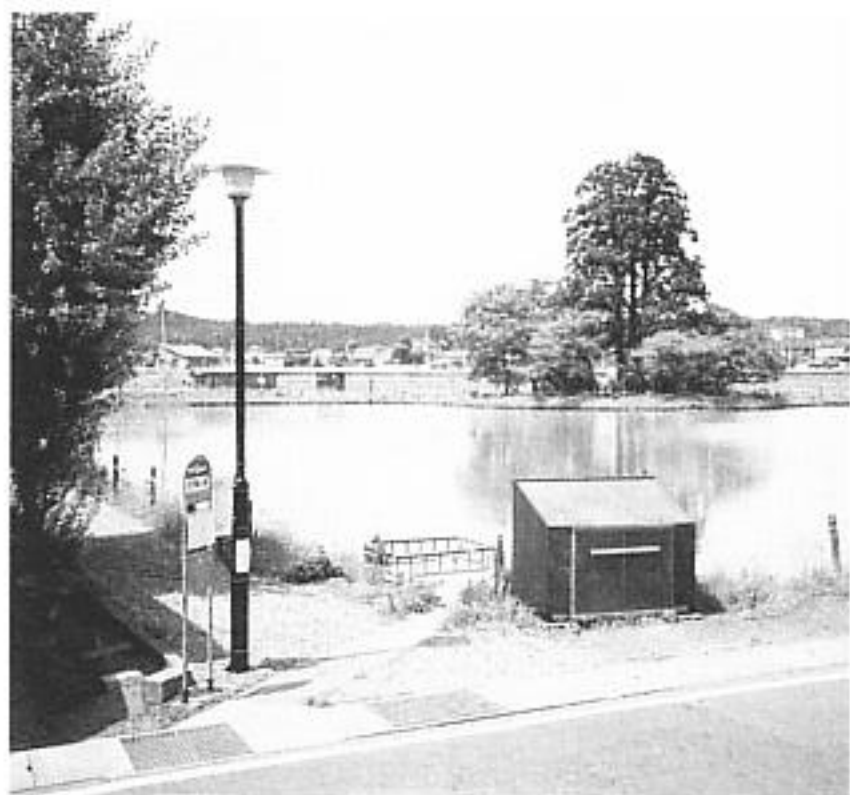
同会では、堤に浮かぶ通称「弁天島」の大杉に電球を配してジャンボクリスマスツリーをつくり、その下でクリスマスパーティーを二年前から開いていますが、会員等からは、会の名称の基となり、貴重な地域自然財産の弁天島を含む前堤周辺をより親しまれ活用されるコミュニティ公園とすべく、照明の整備を望む声が強く出されていたものです。

今回の施設整備により、地域住民からは「今年から盆踊り大会はここで」と言った声が寄せられるなど、ふるさと意識の高揚とともに、地域コミュニティの維持促進に早くも効果を見せています。

本町の開票結果は、村岡氏が全体の五十八票の二千六十六票を得票、以下川俣氏六百二十五票、笹山氏六百十二票、栗林次美氏百三十六票などの順でした。

全国的に新党が大躍進した今回の選挙は本町でも例外ではなく、新生党の笹山氏は前回の約二倍に得票数を伸ばしました。

本町の投票率は八二・二八で出稼ぎで投票率が低下した前回(平成二年)に比べると二・八五点上がりました。全国的に投票率が低下した中、郡内では本町と鳥海町で前回を上回る投票率となり、この結果について町選挙管理委員会では「不在者投票の出足も鈍く、投票率もかなり下回るのでないかと懸念していたが、高い投票率にホッとしている。町民の方が、今回の選挙の重大さを認識した結果ではないか」と話しています。



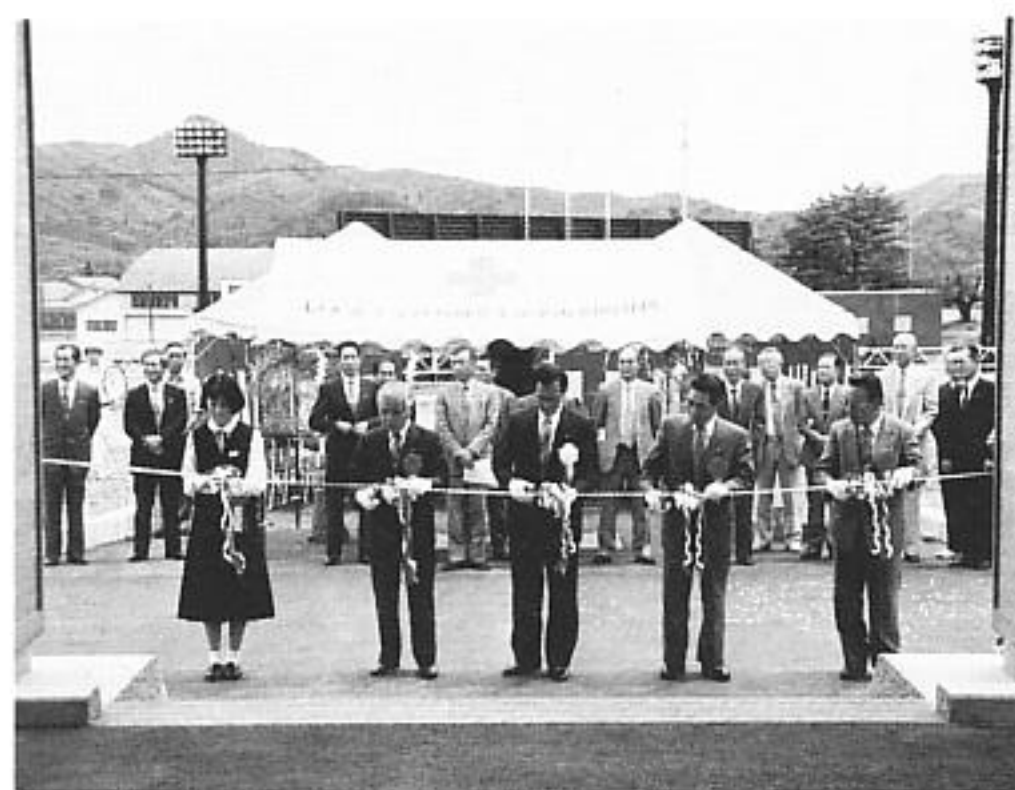
照明施設が整備された前堤



「げんき館」オープン!!

平成四年度と五年度の継続事業で建設されていた屋内運動広場「げんき館」の完工式(神事)が六月二十九日に行われ、七月一日オープンしました。げんき館はゲートボールコートなら二面、テニスコートなら一面とれる砂入り人工芝のコートになっています。この施設はいろいろなスポーツに利用できるよう天井の高さを最高十メートルとしたほか、室内を明るくするために、天窗を設けるなど、採光に配慮しています。敷地面積は五千二百九十七平方メートル、総事業費は約二億四千五百万円となっています。

六月二十九日に行われた完工式には町、議会、工事関係者など約六十人が出席。神事を行った後阿部幸悦町長が「天候に左右されず土感覚で運動できるように整備しました。若者からお年寄りまで幅広く利用していただきたい。工事関係者の方々の努力に感謝します」とあいさつ。また阿部副議長が「土の香りと木のぬくもり、自然にマッチ



完成を記念して5人がテープカット

したすばらしい建物が完成しました。この施設が活力ある町づくりの拠点となるよう祈念します」と祝辞を述べました。この後、阿部幸悦町長、阿部副議長、げんき館の命名者阿部泉さんら五人がテープカットを行い完成を祝いました。出席者らは式典後早速ゲートボールを行い、真新しいコートの感触を楽しんでいました。

竣工記念ゲートボール大会

招待チームが圧勝

七月四日に行われた「げんき館竣工記念ゲートボール大会」には、町内八チーム、町外四チームの約百三十人が参加しました。

阿部幸悦町長らの始球式に引き続き、競技開始。三チーム毎のリーグ戦が行われた後、それぞれの一位チームによる準決勝、決勝が行われ、各チームとも日頃の練習の成果を発揮し、白熱した試合となりました。



熱戦が繰り広げられたゲートボール大会

結果は、招待チームの本荘市、西目町、仁賀保町、由利町の四チームが圧倒的な強さで準決勝に進出。決勝では仁賀保町が二十一対十三で本荘市を破り、優勝しました。

参加者からは「土の上とは勝手が違

い最初は戸惑ったが、ボールが真つすぐ進むのでプレーしやすい。そしてきれいな人工芝の上でプレーが出来、最高でした」と評判も上々でした。

なお、げんき館の利用料

金は下表のとおりです。

「げんき館」の使用料(1時間当たり)

単位:円

区分	使用単位	町内	町内と町外	町外
ゲートボール使用のとき	コート1面	200	300	400
テニス使用のとき	コート1面	400	600	800
その他の運動に使用するとき	1人	40	60	80
興業及び営利のため使用するとき	全館	5,000	7,500	10,000
その他の催しに使用するとき	全館	2,000	3,000	4,000



ついに出了た！ おんせん

ポンプアップで、38度毎分60リットル

町民待望の温泉掘削は昨年十二月十八日から館合字大平（久保）地内で工事を開始し、六月二十六日に掘削契約の千畝に到達。坑内検査や洗浄などを行った後仮設ポンプを設置し、七月十九日に温度三十八・二度、毎分六十リットの温泉をポンプアップすることに成功しました。

町では、住民福祉の向上につなげる施策を考えています。

予想以上の 堅い岩盤に 工期を延長

昨年十二月定例議会に、温泉掘削工事の契約について十二月十八日から三月末までの工期で行うよう提案し可決。一月二十二日には現地で「安全祈願祭」が行われ、一月二十七日から掘削を開始しました。

二十四時間体制で行われた掘削は、約二百畝地点までは一日平均十三畝と順調に掘削できたものの、その後は堅い岩盤にぶつかり掘削率が低下、工期の三月末には当初計画の千畝の半分にも満たない状況

であり、工期を五月末まで延長しました。ところが、堅い岩盤は予想以上に厚く、五月末までに、千畝掘削することは困難と判断し、さらに工期を七月末まで延長することになりました。

住民福祉の 向上に利用

六月二十六日、掘削を開始してから百五十日目にして契約の千畝に到達。揚湯試験を六月二十八日から開始、七月十九日には仮設ポンプを設置し、試験運転を開始、その結果、水温三十八・二度、毎分六十リットの温泉水のくみ上げに成功したものです。

田県分析化学センターに検査を依頼し、今月末までには含有成分の結果が報告されることになっています。

町では「今後の利用方法については、議会や五十人委員会などいろいろな場で協議して決定したい。住民福祉の向上につながる利用方法を考えてい」としています。



▲利用方法が課題となる温泉

順調に工事が進む道の駅



道の駅

平成7年度に完成予定

「流れ重視の道の機能に溜まりの場を」の発想が建設省の道の駅構想。

本町も平成四年十二月現在全国二十二箇所の一つに選ばれ、秋田県が事業主体となり国道一〇七号老方地区で工事が進められています。工事は平成七年度の完成を目指して進められており、今年度盛土と出入り口と国道との段差を

なくす作業が進められます。平成六、七年度にはトイレ、休憩所、駐車場などを整備することになっています。

道の駅の総事業費は三億六千万円、面積は約八千五百平方メートルです。

町ではこの道の駅周辺に活性化拠点施設を整備することにし、五十人委員会などで検討が進められています。

50人委員会 整備構想をたたき台に議論

町の活性化拠点施設の整備構想のほか、町の個性づくりを推進しようと三月に発足した五十人委員会では、これまで、町の活性化や拠点施設に関するアンケート調査、交通量調査などを行っており、今後は先進地研修なども予定されています。二カ月に一回の会議では「道の駅周辺の施設整備構想」をたたき台にして議論が進められています。

このたたき台の図面はあくまでも計画であり、議論、検討され現実のものとなります。なお、構成メンバーは次のとおりです。

50人委員会委員名簿

(5.6.18現在) (順不同、敬称略)

所 属	役職名等	氏 名	所 属	役職名等	氏 名
議 会 代 表	議 長	阿部 剛	森林組合青年部	部 長	小笠原豊和
	副 議 長	長沼 久男	農 業 士 の	指導農業士	金子 拓雄
	総務常任委員	遠藤 忠平	代 表	経営農業士	小松 義嗣
	教育民生常任委員	畑山 清一	連合青年会	会 長	小野 進
	産業建設常任委員	佐藤 萬一	農業近代化センター	会 長	小野 武志
農 業 委 員 会	会 長	鈴木 和夫	連合婦人会	会 長	大坂 イヨ
教 育 委 員 会	教育委員長	小松順之助		副 会 長	大庭 ヒサ
	社会教育委員	伊藤 彦舟		向 田	横山 福子
	組 合 長	阿部 和雄	農 村 婦 人	館 合 新 田	高橋 佳子
農 業 協 同 組 合	総務委員長	阿部 重助	の 代 表	下 通	柿崎イセ子
	生産流通委員長	小野 勝徳		島	畑山喜美子
	生活委員長	高橋 忠一		大 琴	佐々木タケ子
	参 事	佐藤 俊一		連 合 会 長	小野 要造
商 工 会	会 長	大沼 武且	老 人 会 の	館 合 第 二 寿 会	工藤 武雄
	理 事	佐藤 知泰	代 表	法 内 生 寿 会	遠藤 吉蔵
	理 事	伊東 一夫		宿 紅 葉 会	長谷山専太郎
森 林 組 合	組 合 長	小松 文一		八 塩 山 麓 会	長谷山 光
社 会 福 祉 協 議 会	会 長	梅津嘉一郎	地 域 興 進	フ ラ ン ス 農 産 物 組 合	長谷山憲一
事 業 主 協 議 会	会 長	川尻 幾郎	活 動 団 体 等	東 由 利 産 産 物 組 合	小野 克弘
	副 会 長	佐藤 達男	の 代 表	在 天 島 産 産 物 組 合	高橋賢太郎
老 方 郵 便 局	局 長	長谷山博昭		グ リ ー ン 東 由 利 自 然 の 会	遠藤 熊雄
農 協 青 年 部	部 長	小笠原 均		民 謡 同 好 会	遠藤 真吉
農 協 婦 人 部	部 長	大塚 トシ		カ ラ オ ケ 同 好 会	小松 昭作
商 工 青 年 部	部 長	長沼 久利		野 焼 きの 会	小松 幸子
	副 部 長	遠藤 英二	町	町 長	阿部 幸悦
商 工 婦 人 部	部 長	伊東トクミ	助 役		小松 久男
	副 部 長	阿部 フヨ	合 計		53名

50人委員会で議論されている整備構想



(注) この図面はあくまで計画であり、実際にこうなるものではありません。



町指定金融機関制度 7月1日にスタート

県内で57番目

町指定金融機関制度が七月一日からスタートし、公金の取り扱いにはJ A東由利が行うことになりました。

初日の一日には、阿部幸悦町長、小松正昭収入役、阿部和雄J A東由利組合長がテープカットし、J A職員が普通貯金口座から当座貯金口座への振替を行い支払い準備が完了、関係者が拍手し、スタートを祝いました。

指定金融機関制度は「出納事務の一層の安全性と正確性を確保する」ことを目的に、県内六十九市町村中、五十六



左から阿部J A東由利組合長、阿部町長・小松収入役

市町村がこの制度を取り入れており、本町は五十七番目になります。なお、税金の納付や役場からの支払いなどは今までのとおりです。

宿地区座談会

7月1日・宿会館
参集・宿、黒沢自治会

この座談会は、鳥台農道、宿桜並木付近一帯の河川公園説明会の後、地区の要望を受け開催されました。

問 河川水を利用したいが、高さが不便なので揚水場を設置してほしい

答 地域内で場所を選定し、



座談会には約30人が参加

町に示してほしい。その後検討する

問 国道に設置している水銀灯が故障した場合、連絡しても復旧まで時間がかかるので改善してほしい

答 県に要望していく。なお、連絡の場合、電柱に付いている107-☆番の番号も一緒に連絡してほしい

問 町道日渡線に防雪対策を

答 立派なものは困難だが、検討する

問 宿地区の防火水槽は三つあるが、いずれも無蓋で老朽化。改修してほしい

答 防火水槽は全然ない地区から優先して設置している。

町功労者

佐々木直三郎氏逝去



町功労者で元町消防団長の佐々木直三郎氏が、病氣療養中のところ七月四日永眠されました。七十九歳。

氏は昭和五年下郷村消防手を拝命、その後分団長、副団

長として指導力を発揮され、新村発足後の昭和三十二年には村消防団長に推挙され、昭和四十八年に勇退されるまでの四十三年間余り、郷土の防災と安全に献身的努力を傾注されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

講師は女優の浅利香津代さん

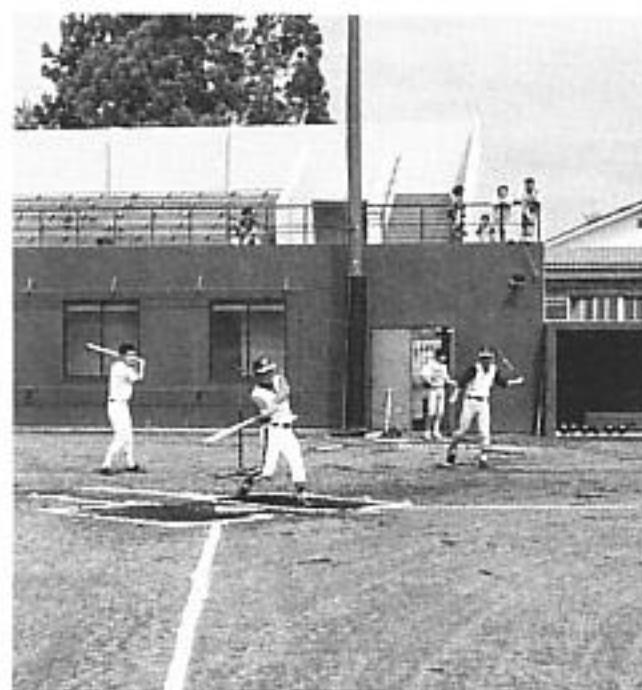


どのテレビ出演も多く、芸能界でも貴重な存在となっています。

当日は、舞台やテレビ出演を通しての貴重な体験談や、ふるさと秋田への思い入れなどを軽妙なユーモアを交えた語り口でご講演いただきます

一般町民の方で聴講希望の方は九時半から九時五十分までご来場のうえ、係の指示に従ってください。詳しいことは教育委員会（☎六九―二三一〇）まで。

14日に勤労者野球場で ふるさと交流野球



ーの下で花火を見ながらの交流会を予定しています。
ぜひ参加してください。

今年の
新成人は
81人

(敬称略)

成人式は15日に
有鄰館で開催

(注) 名簿は東
由利中学校卒業
者に転入された
方を含みます。

《大吹川》 佐藤 真樹	《下小屋》 安倍 正工藤 克	《新町》 千葉 覚康	佐藤 環	《黒沢》 小松 一元	阿部 勝好	《沼》 鈴木 要一
《須郷》 武田 真人	《時雨山》 佐藤 奈留子	菊地 由紀恵	小松 肇	畠山 智恵子	小松 久美子	《大琴》 伊東 典子
《地下ノ沢》 畠山 修	《田代》 長谷山 冬樹	阿部 純子	小松 雅彦	阿部 恵	《横渡》 阿部 毅	《新処》 遠藤 忠敬
《黒淵》 畠山 卓美	小松 美奈子	《八日町》 畠山 マキ子	大場 千恵子	《久保》 阿部 亜希子	《横小路》 阿部 和一	《十二ノ前》 遠藤 忠敬
渡辺 慎也	《石高》 小松 留美子	《松柴》 小野 由美	高橋 亜希子	阿部 幸子	小野 加奈江	阿部 早苗
《葎沢》 佐藤 順市	長谷山 忍	《上山》 小松 亮介	《蔵》 柴田 泰裕	《桂台》 遠藤 勝弘	《舟木》 長谷山 伸	《土場沢》 小笠原 美奈子
《向田》 小松 和弘	佐藤 英吉	《五海保》 高橋 慶始	《中通》 佐藤 猛彦	伊東 哲	遠藤 弘幸	《下吹》 畑山 幸恵
《智者鶴》 高橋 浩二	《袖山》 小野 仁	畑山 伸行	《須郷田》 小野 平和	佐々木 克仁	大沼 和彦	《宮ノ前》 小松 亜希子
《泡ノ淵》 横山 和栄	鈴木 洋子	莊野 加代子	《山崎》 小野 義博	柿崎 松美	遠藤 美由紀	《高村》 小野 康広
《家ノ下》 小松 雄一	《館合新田》 小松 亮介	《蔵新田》 柴田 泰裕	《中通》 佐藤 猛彦	伊東 哲	遠藤 弘幸	《下吹》 畑山 幸恵
《山崎》 小野 義博	《上山》 小松 亮介	《蔵》 柴田 泰裕	《中通》 佐藤 猛彦	伊東 哲	遠藤 弘幸	《下吹》 畑山 幸恵
《家ノ下》 小松 雄一	《館合新田》 小松 亮介	《蔵新田》 柴田 泰裕	《中通》 佐藤 猛彦	伊東 哲	遠藤 弘幸	《下吹》 畑山 幸恵
《山崎》 小野 義博	《上山》 小松 亮介	《蔵》 柴田 泰裕	《中通》 佐藤 猛彦	伊東 哲	遠藤 弘幸	《下吹》 畑山 幸恵

小松前教育委員長が 地方教育行政功労者表彰



表彰された小松昌樹氏

小松昌樹前教育委員長（70歳、八日町）が地方教育行政功労者として文部大臣から表彰されました。

小松氏は昭和四十七年十月一日に教育委員に選任され、昭和五十年十月一日には委員長職務代行、昭和六十二年十月二十日から平成四年九月三十日まで教育委員長を務めました。

この間、小学校統合や、町教育研究所の設置など、教育行政全般にわたり多大な功績を残しました。

表彰式は七月十五日、東京都の青山学院大学講堂で行われました。

佐藤さんと長谷山さん 県体指功労賞を受賞



佐藤さん(左)と長谷山さん(右)

町体育指導委員の佐藤謙一さん（大吹川）と長谷山肇さん（石高）が、五月二十九日に大曲市で行われた第三十六回県体育指導委員研究大会の席上で、体育指導委員功労者として表彰されました。

この表彰は体育指導委員として、地域のスポーツ振興に貢献している方に贈られるもので、二人とも昭和五十八年から同委員を務め、活躍されています。

健康志向が高い現在、体育指導委員の役割も重要視されており、今後益々の活躍が期待されています。

蔵農村公園が完成 地区大運動会を開催

農村総合整備モデル事業で整備が進められていた蔵農村公園がこのほど完成し、七月十一日には竣工神事、蔵地区家族大運動会が行われました。同公園の敷地面積は約六千四百平方メートル。滑り台、ブランコなどの遊戯施設のほか、東屋、トイレなどが整備されています。

十一日に行われた神事には、町、議会、地区関係者ら約五十人が出席し、今後の安全を祈願しました。

その後、蔵地区の住民約三百人が参加し大運動会を開催。時折雨が降るあいにくの天気にもかかわらず予定されていた二十五のプログラムをすべて消化、新しいグラウンドでの運動会を楽しんでいました。



11日に行われた神事



「グラウンドゴルフ」に 子供たちが笑顔で挑戦

町内三小学校区のスポーツ少年団交流会が七月十日、げんき館で行われ、百人を超える団員が参加しました。

当初は勤労者野球場で野球交流を行う予定でしたが、あいにくの雨模様の天気のため、げんき館でグラウンドゴルフの交流会となりました。

公民館の職員からルールが説明された後、館内に準備された四つのホールを目指して一チーム五、六人編成でスタート。

最初は力加減がわからず戸惑っていた子供たちも、ホールを進むにつれ、徐々に上達中には大人顔負けのプレーも飛び出し、会場は和気あいの雰囲気となりました。

子供たちは学校週五日制の土曜日を有意義に過ごしていました。



子供たちが笑顔でプレー

町バドミントン大会 高校生の技術向上に

第五回東由利町バドミントン大会が六月二十七日、健康増進センターで行われ、三十人余りが参加しました。

当日は会場の三コートを利用して行われ、今回は下郷分校の一年生六人が参加。バドミントンを始めて間もないこともあり、戸惑いながらも精一杯のプレーをしていました。

主催した町バドミントン協会では「高校生の技術向上も大きな目的。たくさん試合をして上手になってほしい」と話しています。

各部門の優勝者は次のとおりです。（敬称略）

《一般ダブルス》

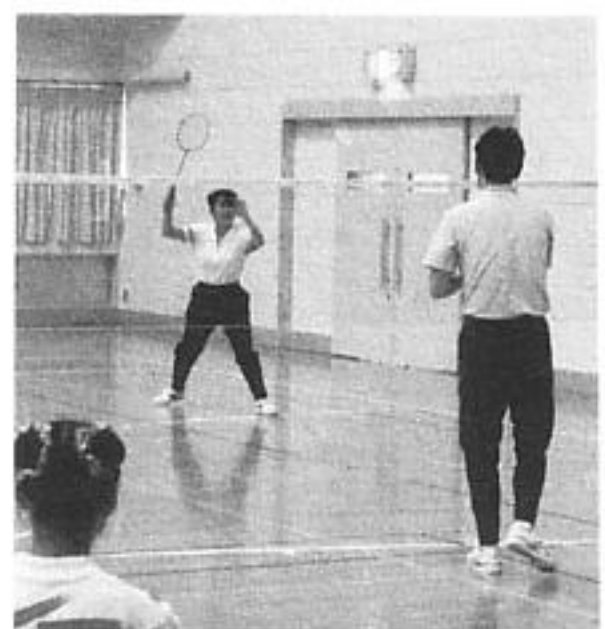
鎌田敏・佐藤一裕（東由利町）

《協会ダブルス》

佐藤一美・工藤研（羽後町）

《シングルス》

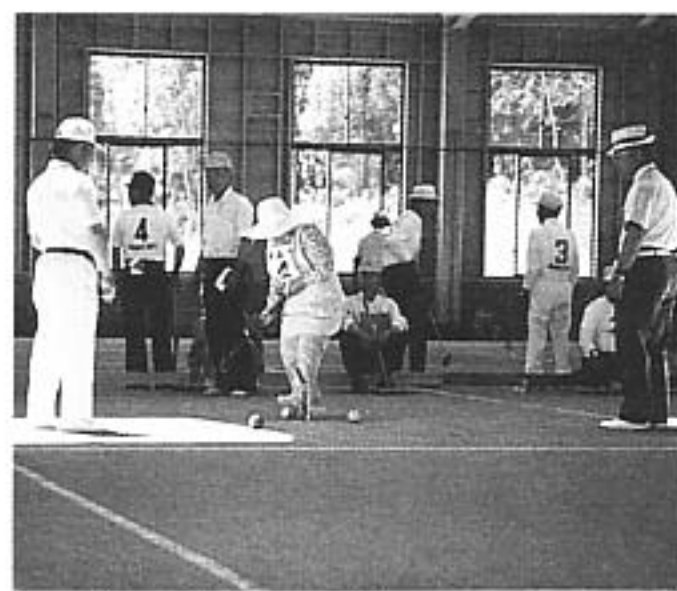
工藤研（羽後町）



30人余りが参加したバドミントン大会

ボランティアに感謝

東光苑 謝恩
ゲートボール大会



げんき館でのゲートボール

「日頃のボランティアに感謝して」と、今年で六回目を数える東光苑謝恩ゲートボール大会は七月八日、げんき館で行われました。

当日は地区老人クラブと地元招待チーム、東光苑職員チームの十二チーム、約百二十人が参加しました。

げんき館でプレーするのは初めてという参加者も多く、土の上とは一味違う砂入り人工芝の感触を楽しんでいました。

試合結果は次のとおりです。

優勝 蔵壮寿会

準優勝 館合第一寿会

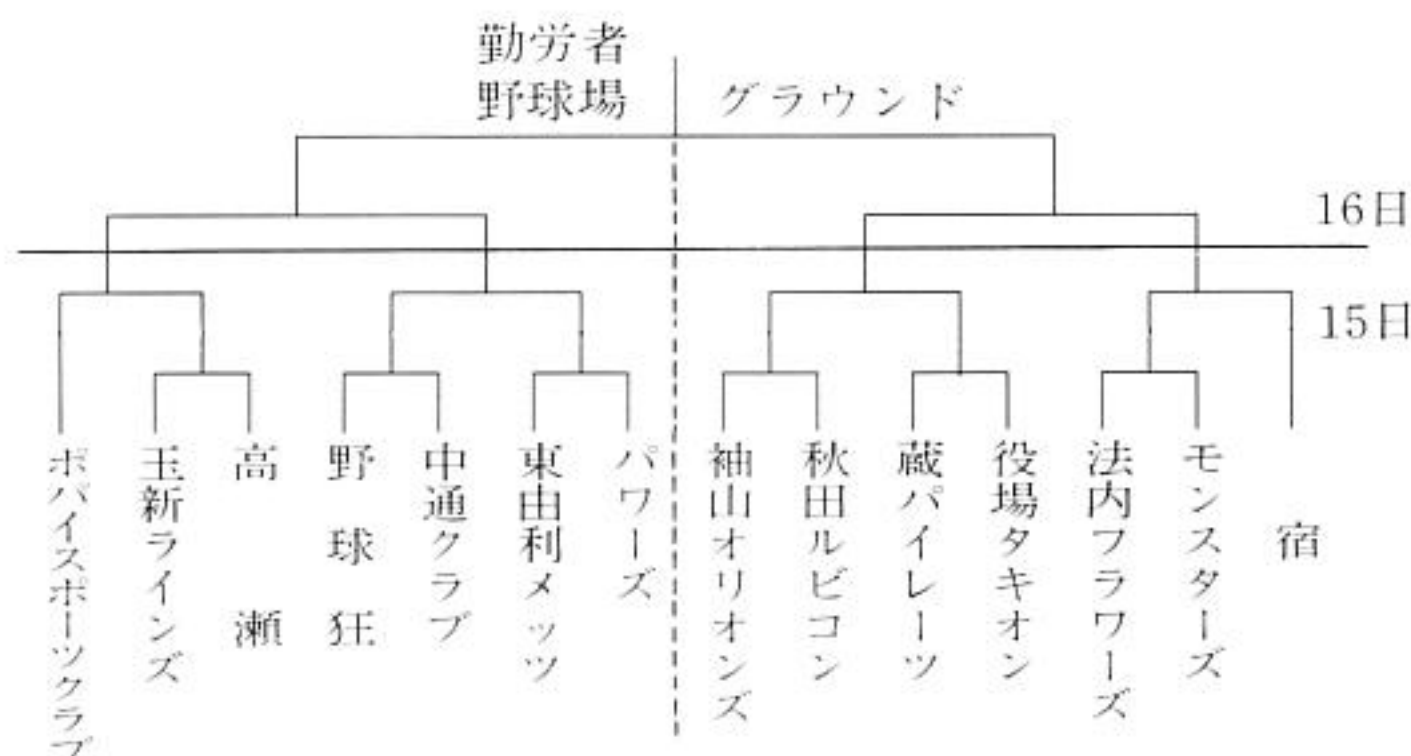
第三位 袖山長寿会

社会人野球大会は 15・16日に開催

第三十五回東由利町社会人野球大会は八月十五、十六日の両日、勤労者野球場と町民グラウンドで行われます。

昨年はナイターで行われましたが「お盆期間の盛り上がりには欠けるのでは」との声もあり、主催する町野球協会では例年どおりお盆期間中の開催にしたものです。

参加チームは十四チーム。組み合わせは次のとおりです。



HIGASHIYURI 東由利の話題 TOPICS



町の宝もの

15

根城館

館の東・南方部の裾を高瀬川がう回し、西方は急な斜面で天然の要害をなしています。南の突出部斜面に空濠があったが今は埋められて畑地・北側にも空濠があったようです。

根城館は別名「鶴舞館・鶴館」ともいわれる伝説があります。

古文書によれば、根城館には屋敷の数十軒、この城で仁賀保・庄内衆と戦ったとあります。この戦いは天正十年（一五八二）根城館を攻めたもので、鉄砲の名人真木（牧）新右エ門が、川を渡る敵を多く射落とした。また、女

まで加わり、石や臼を突き落とし総出で防ぎ追いはらいました。館の台地が開田される時、焼き米や炭化した木が多く発掘されたそうです。



何をくましているの？

町の誘致企業として進出して今年で十年目を迎える秋田ルビコン株式会社は、現在百八十五名の従業員が働いています。テレビ、ビデオ等の電気製品の部品であるコンデンサーを製造しており、今は使い捨てカメラのフラッシュに使用されるコンデンサーが多く製造されているそうです。四月頃からは景気も上向きになり、現在はフル稼働の状況。同社の井口常務は「楽しく働ける職場

コンデンサーを製造

秋田ルビコン株式会社

づくりと働く人々の将来に向けての基盤づくりを心掛けています」と話しています。



愛育班から

おかあさん登場

遠藤ナミさん（野田）



「塩分や糖分の上手な採り方」とか「健康診断を通しての食生活の改善」など勉強会に出席すれば何か一つは勉強になります。特に愛育班活動をしていて、食生活の面では改善された部分が多いと思います。

その反面、人の先になって物事を進める難しさを実感します。ちょっと前であれば家にいる人が多く、活動も活発に行われていたようですが、今では会社に勤めている人や忙しい人が多くて、愛育班の活動が思うようにいかなのが現実です。私も家と会社と愛育班の仕事をしなければならず、どこかが中途半端になってしまい、誰かに迷惑がかかってしまいます。これから何年も愛育班活動は続いていくと思うので、その時代にあった活動の仕方を検討するのも大きな課題ではないかと感じています。

Aターンフェア'93

ふるさと就職相談会を13日に本荘市で開催

「あきたへ、あなたも、あしたから」をスローガンに秋田県では「Aターン大作戦」を展開中です。この運動は、首都圏に住む本県出身者のUターン促進と首都圏脱出希望者のIターンを促進する運動です。また地元在住者の県内定住のための就職相談会なども開催しています。

一方、不況と言われている現在でも本荘由利管内の企業からは依然、技術者等の採用意欲が高いのが現状です。

これを受けて、本荘由利雇用開発協会と本荘公共職業安定所では共催で次のとおり、就職相談会を開催することにしたものです。

来春就職予定の方、お盆帰省中の方など参加してみたいかがでしょうか。

日時 八月十三日（金）

午前十時から午後一時まで

場所 ホテル アイリス（二階）

（☎24-5115）

参加企業 本荘由利管内三十社を予定
問い合わせ先 本荘公共職業安定所

（☎22-3421）

県政への要望、意見は「知事への手紙」を利用してください。料金は無料、用紙は役場の窓口にあります。



若い力が 明日の東由利をリフレッシュ

地下ノ沢・鈴木 美保子さん

今年の黄桜まつりでミス黄桜になった鈴木美保子さん（18歳）。「最近少しずつ社会人としての責任を感じてきた」という彼女の素顔に迫ります。

いきいき、クローズアップ

給料明細で 社会人を実感

三人兄弟の末っ子として育った美保子さんは「東由利とは違う環境に住んでみて、町を別の角度から見てみたい」と高校時代は東京への就職を考えたものの、家の人からも勧められて、地元の由利アパレル株式会社に勤務。以前にアルバイトで何回か仕事をしており、そんなに抵抗なく入社できたといいます。現在、服にポケットを付けたりする縫製の部門を担当。「先輩たちについていくだけで精一杯。自分で責任を

もって仕事を処理しなければならぬのが一番大変」と仕事の難しさを実感しているようでした。「初めて給料をもらったとき、給料明細で所得税が引かれていたときは、社会人になったのかな」と感じました」と最近の感想を一言。

同じ職場で働いているお母さんの陽子さんは「家の中では家族を笑わせる明るい子。でも仕事をしている時は、親子関係はないので厳しく接している。『あの子ならかわいくていいな』と思われるような人になってほしい」と話しています。

「母のために役立ちたい」

ミス黄桜になってからは周りの人から「よかったね」などと言われ照れくさいと答える反面「やっぱりうれしいですね」とニッコリ。黄桜まつりでの発表会では「とても緊張しました。写真を撮られるのはあまり得意じゃなくて……」と本音をチラリ。ミス黄桜になつてからの初仕事、NHKの一分番組「ふるさとスポット」でナレーターをしたときは「周りの人から『見たよ』などと言われ、一日中変な気分でした」と話す一方、「ミス黄桜になったのだ



▲ミス黄桜の認定証が鈴木さんに

今は車の運転に夢中

から、いろいろな行事に参加して、少しでも町のために役立ちたい」と今後の抱負を話してくれました。

「つい最近、自動車の免許を取り、この間本荘市まで行ってきました。今の目標はエンストしないこと」とか。自動車は黒のアルトワークス。

「高校時代に仲の良かった友達は、ほとんど遠くへ行ってしまう、他市町村の友達との連絡がほとんど。今までは電話だけだったけど、今度は車で遊びに行きたい」と行動的な反面「暇なときは猫をシャンプーで洗ったりしています」と動物好きな彼女。

社会人になって一年目は何をやっても楽しい時期だと思います。そして「あふれるエネルギーをいろいろな面に役立ててほしい」と感じました。



田代・長谷山裕子ちゃん

(H・3・8・30生まれ)

博昭さんと雅子さん

の長女

わが家の
アイトル

「天気の良い日は外で砂遊び、雨の日は家の中でお人形さんと遊んでいます。おかげさまで賑やかな毎日です」とひいおじいさんの長一さん。

東由利——ニュースダイジェスト④

あめの日・あめの時

朋楽荘建設に着手

昭和四十九年七月十五日、老人いこいの家建設工事が五千六百八十九万三千円で発注され、当時の台山馬検場で工事が開始されました。

『朋楽荘』という名前の出典

は論語「学而」の一節。子曰、学而時習之、不亦説乎。有朋自遠方来、不亦楽乎。……(子曰く、学びて時にこれを習う、また説ばしからずや。朋あり遠方より来たる。また楽しからずや。……)の朋・楽によるもので、学問をし、実践を通して学



老人いこいの家発注

総額で五千六九〇万円

問を身につけて行くことは無上の喜びだ。次第に同士ができれば、知らずの同士が集まって来る。こんな楽しいことはない。……という原典の趣旨に沿うような、楽しく学びあえる施設になってほしいと命名されました。

東由利の文芸

浅舞公園吟行俳句

- ◆花菖蒲八十年を池と咲き
- ◆あやめ咲きさやかに揺れて美を競う
- ◆大輪の花も優雅にあやめ園
- ◆けむりたる出羽の山脈あやめ咲く
- ◆車椅子そびらに滝のしぶき浴ぶ

- 小松 徳蔵(湯出野)
- 菊地 常作(湯出野)
- 佐藤 正義(湯出野)
- 小松順之助(中通)
- 小松 メサ(下小路)

車やバイクをいじるのが好きな彼は「今の仕事が自分にピッタリ。趣味がバイクということもあり、楽しい毎日を過ごしています。特にお客さんに喜んでもらったときは感動します」と満足そう。



佐々木良一さん(22歳)
大琴・藤内輪店(本荘市)勤務

今年の五月には、バイク免許の「限定が解除」され、大きなバイクにも乗れるようになったとか。「クラブの人達と遠くへツーリングに行ってみたい」とも話しています。

今年の目標は「バイクの腕を磨くこと」とキッパリ。黄桜まつりで同級生の出店を

出せなかったのが残念だったらしく「若者がイベントに参加できる環境を整えてほしい」と町への要望を一言。次は地下ノ沢の長谷山直人くんにもリレーします。

- ◆あやめ園花がら摘みは黒子めく
- ◆緑蔭の池に釣師の眼がすわる
- ◆あやめ園渡る板橋詩どころ
- ◆あやめ園花木でおこす町づくり
- ◆見入るほど絵心そぞろあやめ咲く
- ◆九十九折ふもとの家家の花菖蒲
- ◆深閑と城跡のほとりあやめ咲く
- ◆青葉風さざ波ひろげあやめ咲く
- ◆あやめ園江戸むらさきの風渡る
- ◆凱旋碑平和の風のさわやかに

- 小松 メサ(下小路)
- 阿部 澄子(蔵)
- 阿部 澄子(蔵)
- 鈴木 要(沼)
- 小笠原トミ(蔵新田)
- 小野 貞子(蔵新田)
- 小笠原亮子(蔵新田)
- 遠藤トミ子(小倉)
- 高橋ヒデ子(横渡)
- 高橋ヒデ子(横渡)

笑顔の子供たち



佐藤健二くん

ぼくの夢は、サッカー選手になることです。それは、サッカーが好きだからです。そして、シュートを何本も決めたいです。今、ぼくは学校にサッカーボールを持って来て、友だちと遊んでいます。ときどきとられるけど、何とかかんとかシュートを入れています。

サッカーの選手になったらキャプテンになって、みんなを引っばって行きたいです。そして、ぼくのチームの得点を一点、二点、三点と入れていきたいです。



工藤邦彦くん

ぼくは大人になったら学校の先生になりたいと思います。なぜかというところ、いろいろな学校に行けるからです。それに、ぼくのおじいさんも先生をしています。だからです。

ぼくはいま、体育と算数の勉強がとくいだから、算数のときは計算が早くなるようにきちゃんと教えてあげたいです。また体育の時はとびこやマット運動をきびしく教えてあげたいです。



遠藤はるみさん

わたしは、大きくなったらピアノの先生になりたいです。なぜかと言うと、わたしはピアノが好きだからです。

ピアノの先生になったら入った子どもたちに「ここがド」ですよ」とやさしく教えたいです。また「こういうふうにはひくのですよ」と言って、手本をみせてあげたいです。

わたしは、ピアノが大好きなので、将来の夢は、ぜったいにかわりません。

だからこれからも勉強をきちんとやっていきたいです。

未来の夢は？ (高瀬小3年生)

私の家では、牛、田、畑の他に、小規模ですが葉たばこを栽培しています。祖母が亡くなった今では、母が一人で仕事をしています。状態です。私も植えつけや葉をまく作業を手伝いました。が、あまりの重労働に嫌気がさしてくるくらいでした。でもその

の葉たばこも私の身長を越すほど成長して、今は葉を編む作業をしています。しかし天気は左右される仕事なので、雨が降ると葉が腐り、困ってしまいます。私が何かできるとしたら、それは母の働く姿勢を学び、更に、負担を少しでも軽くしてあげることだと思っています。来年は進路を決定しなければいけません。やりたいことはまだ見つかっていませんが、今回の手伝いを通して働くことの意味も理解できたらいいと思っています。一番身近にアドバイザーがいるので、いろいろなことを教えてもらいながら手伝いたいと思います。

ハイスクール日記 今年の夏休みは



下郷分校2年 畠山恵理子さん

二年生になって初めての長期休みが近づいてきました。今年は気持ちもちも落ち着いているので、働くということについて真剣に考えてみよう、家の手伝いをアルバイト式ですることになりました。

永慶保育園



右かられいなちゃん・ひできくん
ももこちゃん・あきちゃん・ひろきくん

さとうれいな
(横小路)



ささきひでき
(大琴)

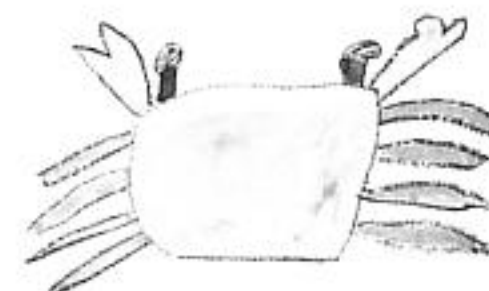


ぼくの絵 わたしの絵 かにさん

おがさわらももこ
(蔵新田)



えんどうあき
(小倉)



こまつひろき
(中通)



8月→データ東由利

(6/1~6/30)

人口 ()は前月比

■男	2,731人(△3)
■女	2,871人(△5)
■計	5,602人(△8)
■世帯数	1,420戸(△1)

()は1月からの異計

●出生	5人(20)	●死亡	7人(37)
●転入	8人(51)	●転出	14人(103)

■火災出動	0件(3)
■救急出動	7件(48)
■交通事故	0件(2)
●死者	0人(0)
●傷者	0人(2)
■飲酒運転	0人(0)
■酒気帯び	0人(2)

カレンダー 8月の行事

- 1 町民ゲートボール大会(8時30分・町民グラウンド)
- 8 八塩七夕(八塩小)
- 10 航空防除
- 10~11 出稼検診
- 14 ふるさと交流野球(勤労者野球場)
- 15 町成人式
- 15~16 第35回社会人野球大会
- 20 町戦没者追悼式(10時・有隣館)
- 29 町民スポーツ祭

今月は町、県民税2期の納期です。

東由利

郷土の野草

No.102



ネジバナ

(ラン科)

文・写真 小松忠正

モジズリともいわれ、原野などに自生する多年草で、台山の芝生でも見られます。高さは15~30センチぐらい、根生葉は広線形で、その間から花茎をたて、らせん状にねじれた桃色の穂状の可憐な花をつけます。まれに写真左の白い花をつけるシロネジバナや淡緑色の花のアオモジズリもありますがアオモジズリは本町では見たことがありません。モジズリの名は古今集(陸奥のしのぶもじずり誰ゆえに乱れむと思ふ我ならなくに源融)からきているといわれます。◎前号東生とあるのは東生の誤植でした。

戸籍の窓口

(6/21~7/20届出)

●お誕生おめでとう

小野 咲奈ちゃん(孝悦)二女・新町
佐藤 淳也ちゃん(和理)長男・蔵
遠藤 朱莉ちゃん(秀子)長女・五海保
渡辺 知恵里ちゃん(多代子)二女・館合新田

●ご結婚おめでとう

大塚 茂さん(板戸)
遠藤 真理子さん(十二ノ前)
小松 達也さん(大琴)
小野 佳子さん(館西)

●ごめい福をお祈りいたします

小松 春(松さん(80・イクエ・夫)新町)
小松 正(慶さん(78・イサオ・夫)畑村)
小野 國(勢さん(72・フミミ・夫)蔵)
佐々木 直三郎さん(79・マサオ・夫)大琴)
阿部 百合子さん(62・久左エ門・妻)野田)
小野 久代さん(71・庄治・父の妻)時雨山)
遠藤 春三さん(47・ヤエ三男)宿)
畑山 勲さん(45・文子・夫)下吹)
八嶋 キクさん(86・一母)黒淵)
小松 キヨノさん(70・勝之助・妻)田代)

私の好きな風景

蝶



マーガレットの上を飛ぶ蝶。とてもきれいな風景でした。(撮影・小松武さん、五海保)

まごころ

町社会福祉協議会に伊東剛さん(横渡)、小松勤治さん(畑村)、小野勝男さん(蔵)、佐々木正輝さん(大琴)、小野庄治さん(時雨山)、畑山文子さん(下吹)、小松勝之助さん(田代)から金一封が、秋田藤丸会から民謡チャリティー早苗振りまつりの収益金の一部が、町若手経営者研究会から同まつりの売店の収益金が届けられました。

ありがとうございました。

ほっといきて、ひととき

広報の仕事をしていると外を回る機会が増え、人々とも触れ合うことが多くなります。特に小学校、保育園に行く機会が多く、子供たちと触れ合う時間も楽しみの一つ。私が取材しているはずなのに子供たちからの質問に四苦八苦したり、仲間に入って遊んであげようとする逆逆遊ばれてたり……。「こんなことでいいのだろうか」と思っている時間もたつのも忘れ、楽しんでいきます。

広報担当以外は感じるこのない楽しさに「ちよっぴり」仕事のおもしろさを感じている今日このごろです。今後ともよろしくお願ひします。